

ケーター自動車工業(株)

同社は、自動車の分解整備、修理等の整備事業を行っており、京阪グループ各社のバスをはじめ、多くのバス、トラック、乗用車等の整備等を行っています。同社では、良い品質でお客さまのニーズにお応えすることと、環境にやさしい自動車整備工場であることを、社会的な使命として事業を展開しています。平成18年1月に「品質環境管理部」を設置して環境に対する取り組みを強化しており、金属のリサイクル、廃棄物の分別、排水の維持管理に加え、省資源・省エネによるCO₂削減策を積極的に行っています。また、資源を消費することは環境を汚染すること

につながるという視点から、作業を1つ1つチェックし、環境負荷が少なくなるように努めており、平成18年12月にはISO14001の認証を取得しました。



自動車整備工場外周道路の清掃活動



油が地面に流出しないよう設置した廃棄場の屋根

グループ会社における環境ビジネス

(株)かんこう、(株)ソイルエンジニアリング

平成15年2月15日に「土壌汚染対策法」が施行されて以降、土地取引においても土地の価値を評価する上で土壌汚染が大きなキーとなりつつあります。また、アスベスト対策特別措置法およびPCB(ポリ塩化ビフェニル)特別措置法の施行、ダイオキシン類対策特別措置法の一部改正等も併せて、環境を取り巻く社会的意識が急速に高まってきています。

(株)かんこうは、航空測量により蓄積した航空写真などのデータやコンサルタントとしての経験を、(株)ソイルエンジニアリングは、地質調査会社としてのノウハウをそれぞれ活かし、土地の履歴調査や土壌汚染状況調査、さらに浄化対策工事の提案などについて高い実績を有しています。具体的には、(株)かんこう、(株)ソイルエンジニアリング(かんこうグループ)は平成18年度、両社で200件を超える調査を受注し約100社の事業者等と取引を行っています。また、大気、騒音、振動調査、河川お

よび湖沼の底質調査に代表される生活環境の保全に直結する業務も拡大傾向にあります。

「かんこうグループ」は、美しい地域環境の保全と創造のためこれまで培ってきた経験と技術を結集して地域社会とともに環境問題に真摯に取り組み同事業を通じて社会に貢献しています。



自走式ボーリングマシン

編集後記

当社にとって最初のCSR報告書を発行しました。今回のレポートでは、安全と環境経営にポイントをおいた編集となりました。本報告書をお読みいただき当社をよりご理解いただけましたら幸いです。また、皆様のご感想、忌憚のないご意見をお寄せください。

平成19年6月

京阪電気鉄道株式会社 経営統括室経営政策担当 CSR報告書作成事務局

TEL : 06-6944-2529 FAX : 06-6944-2584

<http://www.keihan.co.jp/csr/>